会報 44号

２０２２年（令和４年）３月２５日発行
発行責任者　理事長　恩田初男
群馬県館林市北成島町1829-5
ｔｅｌ．０２７６（７０）１３２６
ｆａｘ．０２７６（７０）１３２７
http://otagaisamaegao.net/

NPO法人 お互いさまネットワーク

＝＝ 理　念 ＝＝
人とのつながりを大切にした福祉活動で、だれもが笑顔で心豊かに生活できる地域社会を目指す法人です。
＝＝ 指　針 ＝＝
① 地域の人から頼られる介護福祉サービスを提供するために成長する。
② 地域の人との交流を深め、当法人の専門性や資源を地域に提供する。
③ 地域の課題やニーズを発見し、地域住民・関係者と連携しながら不足する福祉活動を展開する。

働きやすい職場づくりに取り組む事業所認定
ぐんま介護人材育成宣言

～～～～　令和３年度取り組みの重点　～～～～
① 法人の安定経営を前進
② 働きやすい職場の構築　チェック＆アクション２５の実施・改善項目を確定・改善計画の策定・改善の実施
③ 虐待に対する一時避難所の設置を進める。

一時避難所の設置について

NPO法人 お互いさまネットワーク の令和３年度取り組みの重点のひとつ、「虐待に対する一時避難所の設置」について、昨年12月に設置が完了いたしました。
　この目的は、①児童虐待、②高齢者虐待、③家庭内暴力(DV)によって自宅等に居ることが危険な状態である者に対して、**一時的に自宅等を離れ暴力等の被害を回避すること**です。

1泊500円で利用でき、生活に必要な物品の提供、買い物や用足しなど必要と思われる支援を受けられます。滞在期間の目安は14日間です。利用中の居場所については秘密とし、警察、館林市役所など関係機関以外には教えません。
　利用にあたっては警察署や館林市役所などから連絡を受け、暴力等を受けている被害者の一時避難(14日以内)が必要であると認めていること。単独での避難所の利用が可能であることなどの条件を満たした場合になります。まずは警察署、館林市役所等へのご相談をお願いいたします。
　また、生活支援以外の避難者への虐待、家族関係、生活資金、住居、各種制度の利用等についての課題は、その専門機関に紹介や依頼し解決を図ることといたします。ご承知おきください。

支え合い活動

家事援助
介護保険の申請には至らず、家事援助支援を長くご利用になっていた方から、ご自宅での入浴が困難になってきた、困りごとが増えてきている…などのご相談をいただくことがあります。日々の支援の中で協力者さんが利用者さんの変化にいち早く気づきしかるべきサービスに繋がっています。

移送サービス
透析の送迎依頼が増えています。今までご自身で運転していた、送迎バスを利用していた、家族が送迎していた方々をご家族と協力し合いつつ、お互いさまでお手伝いさせていただいております。安心安全に透析治療が受けられるよう、協力者の皆さんも体調管理を万全にしています。
今の時期は3度目のワクチン接種や、お墓参り、お線香あげなどのご要望も増えています。

協力会員募集中! TEL 0276-74-8286　担当　坂田まで

ケアプラン介護相談の喜楽　第３回コラム
「 自分の親が、身内が認知症になったら
どう介護すればいいの？」
ケアマネージャー　陶山典子

①「知は力なり、よく知ろう」
必要な知識を適切なタイミングで得ると、介護の混乱も介護負担も必ず軽くなります。
②「割り切り上手は、介護上手」
上手に割り切って負担を軽くして長続きする介護を心掛けましょう。
③「演技を楽しもう」
認知症の世界を理解し、大切にする。そのギャップを感じさせないようにすることが大事。本人に合わせるように演技をしましょう。
④「過去にこだわらないで現在を認めよう」
現実を認めそのままを受け入れましょう。
⑤「気負いは負け」
介護保険等の制度を利用して介護の負担を軽くしましょう。
⑥「囲うより開けるが勝ち」
悩みを気軽に打ち明けて一緒に考えていく、社会を築き上げていきましょう。
⑦「仲間を見つけて、心軽く」
何でも話せる知人、隣近所との付き合いを大切にし気軽に頼み合えるようなつながりを持ちましょう。
⑧「ペースは合わせるもの」
認知症の人のペースに合わせることが結局、介護にかかる精神的・身体的・物理的（時間的）負担を軽くすることだと思います。
⑨「自分の健康管理にも気を付けて」
介護者の身体的・精神的・社会的健康が家庭介護の基本です。自分を大切に介護していきましょう。

　３回に分けて、認知症のことをお話しさせていただきました。私は「高齢者は人生の先輩」と尊敬をしていつも関わるようにしています。何時までも助け合いながら生活していきたいと思います。

訪問介護の喜楽

　令和４年３月で「訪問介護の喜楽」が開始して丸１０年が経過しました。ヘルパーは最初は４人でしたが現在は７人で動いております。利用者さんは延べ２２６名（現在５６名利用中）となりました。数多くのご利用、ありがとうございます。
　訪問サービスのみを利用し、開所当時から現在も一人暮らしを継続されている方がいらっしゃいます。この利用者さんのように、一人でも多くの方が一日でも長く在宅生活を続けられるよう、ヘルパー一同一所懸命、支援させていただきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

よってこ松沼

１月まで火・木の週２回運営していたよってこ松沼ですが、群馬県のまん延防止等重点措置が継続し、新型コロナウイルスの感染が高止まりしている現状、よってこ松沼は休業しています。皆さんに笑顔で会える日を心待ちにしています。

屋外での体操、音楽は継続して楽しんでいきます。これからも地域貢献の「タネ」を皆さんと一緒に育てていきます。

グループホーム喜楽・喜楽Ⅱ

グループホーム喜楽では、「その人らしく、ゆったり一緒に楽しく」を合言葉に、利用者ができることを毎日行っています。例えば、「握手で挨拶する、お洒落をする」「高砂を歌う、ラジオ体操をする」「配膳前にテーブルを拭く」「身近な物の文字を読む」「お花の水やりをする」「一緒に食器を洗う」など、その人らしく暮らすためのプランを立てて生活しています。
ある方は、言葉が出にくい状態でしたが、毎日その日の様子を話すようにしたところ、話せるようになり笑顔で過ごすことが増えました。

コロナ禍で外出ができないので、去年の１２月ころからお年寄りの方達でシクラメンの花を育て始めました。育て方が上手なので３月中旬になってもまだまだ沢山の花が咲き続けています。コツを伺うと、「水をあげて、枯れたのを取っているだけだよ。」とのことです。自分で買って育てた分、愛着があります！

ホームページでブログ更新中です。ぜひ、ご覧ください。

毎月第3月曜日に行っている習字の日

先生のお手本を見ながらみんなと一緒に書きます。
「今日はうまく書けた！！」

今日は喜楽の会！
いつもはお寿司を頼んでいますが、今回はお年寄りの皆さん手作りのお稲荷さんとお寿司を作りました！

「美味しい！」
「また作って食べたいね。」

デイサービスセンター喜楽

そろそろ年度末ですね。
デイサービスセンター喜楽では令和３年度の目標の一つとして「デイサービスに通うことにより利用者さんの在宅生活が安定する」事を挙げています。デイに通うようになってからの、利用者さんのご自宅での変化を聞かせていただきました。皆さん悪くなった事はないと言ってくださいます。良くなったことは「生活にメリハリができた。」「簡単な家事や掃除ができる様になった。」「家にいると寝ていることが多いのでデイに行くことができ良かった。」「足がしっかりして歩けるようになった。」など嬉しい言葉が沢山聞かれました。来年度も利用者さん、ご家族に喜んでいただけるよう努めていきたいと思います。

地域密着デイの喜楽

地域密着デイの喜楽は、令和４年３月１日で開設一周年を迎えることができました。これもひとえに皆様のおかげと、心より感謝しております。
今後も地域の皆様のお役に立てるよう、職員一同邁進してまいります。

喜楽畑で収穫した大根で
切り干し大根を作りました！

種芋作りからのじゃが芋植え
流石皆さん、手慣れています！

多機能ケアの喜楽

多機能ケア喜楽のお年寄りたちがこぞってじゃが芋の種植えを見学しに行きました。デイサービスの職員さんが畑を耕したり、肥料を撒いているのを見てみんなで応援をしました。
畑の周りに楽しそうなお年寄りたちの声援がこだまして長閑な雰囲気を醸し出していました。

2月15日多機能ケアの喜楽において新型コロナウイルス感染者が発生し、利用者11名職員6名が感染してしまいました。現在新規感染者はいません。
2月27日まで通い、泊りのサービスを中止し、ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。